

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成29年3月21日

計画の名称	52 泉大津駅西地区における安全・安心なまちづくり（防災・安全）				重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成29年度 ～ 平成33年度（5年間）		交付対象	泉大津市		
計画の目標						

- ・泉大津駅西地区周辺において、通学路の交通安全対策に取り組み、歩行者・自転車が安全安心で快適に移動できるまちづくりを図る。
- ・駅周辺を中心に、利便性の高い市街地形成のための道路整備に取り組み、魅力あるまちづくりを図る。
- ・津波浸水区域である港湾地区からの避難路および緊急車両通行路確保のための道路整備に取り組み、安全なまちづくりを図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・安全で快適に通行できるとする市民の割合を55%（平成26年度）から58%（平成33年度）に増加させる。
- ・泉大津市通学路交通安全プログラムに基づく要対策箇所安全性向上を図る。
- ・良好な住環境が整っていると感じている市民の割合を71%（平成26年度）から77%（平成33年度）に増加させる。
- ・防災対策が充実し安心だと感じている市民の割合を58%（平成26年度）から67%（平成33年度）に増加させる。
- ・港湾地区からの移動時間を14分から10分に短縮させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)									
市民アンケート調査により、泉大津市内の道路は安全で快適に通行できるとする市民の割合を調査する。	55%	—	58%	第4次泉大津市総合計画								
市民アンケート調査により、良好な住環境が整っていると感じている市民の割合を調査する。	71%	—	77%									
市民アンケート調査により、防災対策が充実し安心だと感じている市民の割合を調査する。	58%	—	67%									
港湾地区から泉大津駅までの走行時間を、整備前と整備後に計測する。	14分	—	10分									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,212百万円	A	1,212百万円	B	—	C	—	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業

A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
										H29	H30	H31	H32	H33				
A-1	街路	一般	泉大津市	直接	泉大津市	S街路	(都) 泉大津駅前通り線	駅前広場ハリアー、道路改築 L=0.20km	泉大津市						866		—	
A-2	道路	一般	泉大津市	直接	泉大津市	市町村道	(市) 泉大津臨海連絡線	歩道設置 0.20km	泉大津市						67		—	
A-3	道路	一般	泉大津市	直接	泉大津市	市町村道	(市) 小松原通線	歩道設置 0.20km	泉大津市						102		—	
A-4	道路	一般	泉大津市	直接	泉大津市	市町村道	(市) 松之浜大津川線	歩道設置 0.35km	泉大津市						177		—	
										合計					1,212		—	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H29	H30	H31	H32	H33		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H29	H30	H31	H32	H33			
										合計					〇〇	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												〇〇	備考		

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成29年3月21日

計画の名称	52 泉大津駅西地区における安全・安心なまちづくり（防災・安全）	重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成29年度 ～ 平成33年度（5年間）	交付対象	泉大津市
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉大津駅西地区周辺において、通学路の交通安全対策に取り組み、歩行者・自転車が安全安心で快適に移動できるまちづくりを図る。</li> <li>・駅周辺を中心に、利便性の高い市街地形成のための道路整備に取り組み、魅力あるまちづくりを図る。</li> <li>・津波浸水区域である港湾地区からの避難路および緊急車両通行路確保のための道路整備に取り組み、安全なまちづくりを図る。</li> </ul>		

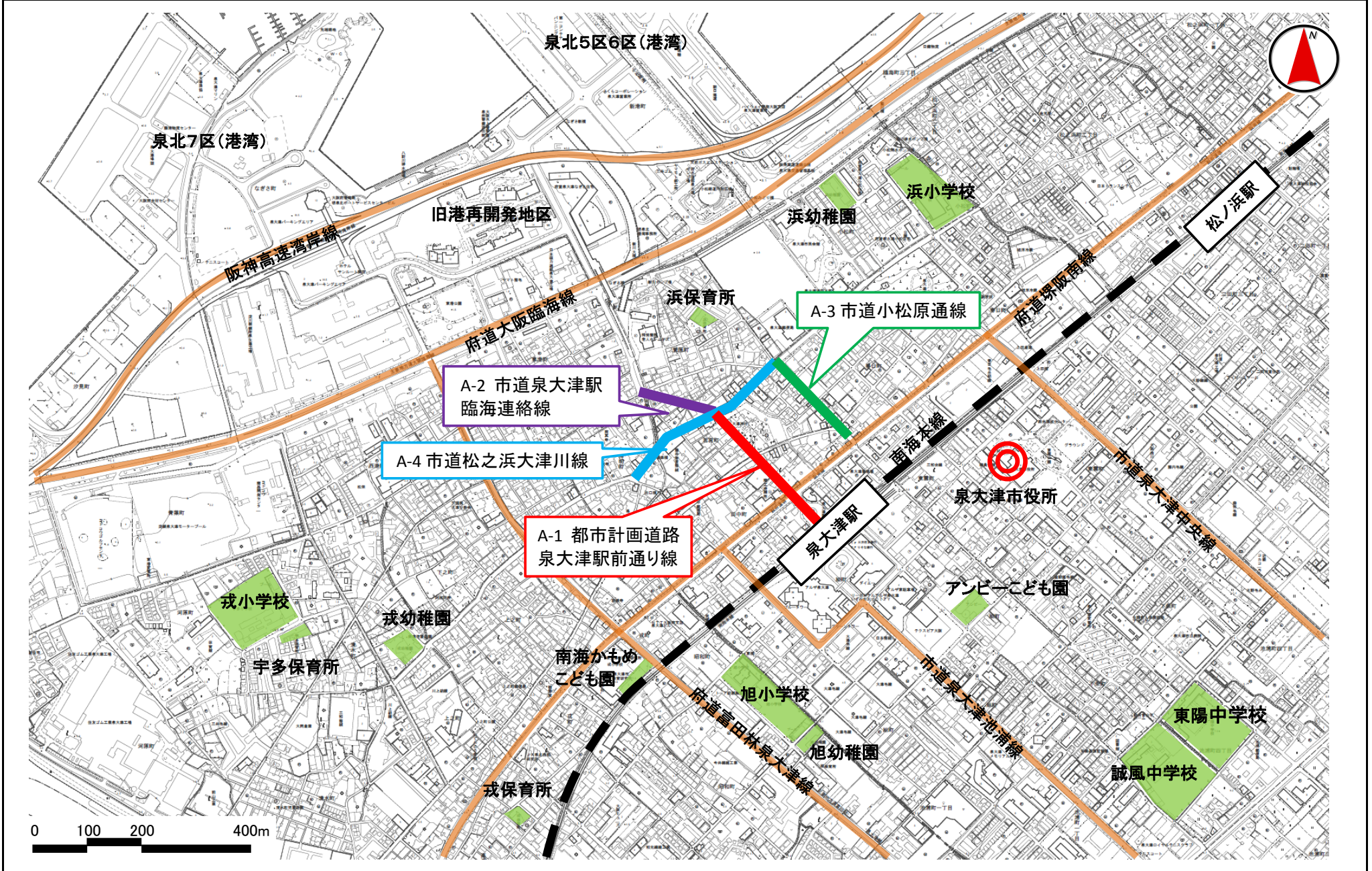
交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	泉大津駅西地区における安全・安心なまちづくり (防災・安全)		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)	交付対象	泉大津市



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 泉大津駅西地区における安全・安心なまちづくり(防災・安全) 事業主体名: 泉大津市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
2)必要性という観点から整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)事業効果が期待できる。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)計画について、住民との間で合意が形成されている。	○